

報道関係各位

株式会社 OKB総研

「主婦の料理に関するアンケート」結果について

OKBグループのシンクタンク株式会社 OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤義徳)は、「主婦の料理に関するアンケート」結果を取りまとめましたのでご紹介します。なお、結果の全文は4月に発刊予定の当社機関誌「レポート Vol.165」にて掲載いたします。

《要約》

1. この人が作った料理を食べてみたい!～トップは「速水もこみち」
2. 主婦の得意料理は「煮物」。味は母親直伝。
3. 夫の手伝い～トップは「何も手伝ってくれない」が36.6%
 - ・年代別にみると、年代が高くなるほど料理に関する家事を手伝わない夫が多い。
 - ・20歳代、30歳代の主婦の夫は、約3割が「後片付けのみ(食器洗いを含む)」を实行。
4. 最低限手伝って欲しいこと～トップは「後片付けのみ(食器洗いを含む)」が37.4%
 - ・年代別にみると、年代が高くなるほど夫は「何も手伝わなくて良い」の回答率が高い。
 - ・20歳代の約6割、30歳代の約4割が、夫に「後片付けのみ(食器洗いを含む)」を希望。10年前(2006年)の調査と比較してその回答率は10%以上増加。

【調査概要】

1. 調査期間：2016年11月8日～11月11日
2. 調査方法：OKB大垣共立銀行本支店(東京・大阪を除く)に来訪した主婦791名にアンケート用紙を配布・回収(無記名方式)
本調査は、「主婦の消費行動アンケート」と同時に実施
3. 有効回答者数：775名(有効回答率 98.0%)
4. 回答者属性：

年代	20歳代	7.1%
	30歳代	16.3%
	40歳代	31.1%
	50歳代	28.4%
	60歳以上	17.2%
住所	岐阜県	55.5%
	愛知県	40.9%
	三重県	1.8%
	滋賀県	1.8%
就業形態	専業主婦	13.4%
	正社員・公務員・自営業	44.8%
	パートタイマー	38.8%
	内職・その他	3.0%

(注1) 本調査における「主婦」とは、既婚の女性で子どもの有無や就業形態は問わない。

(注2) 数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある(以下同じ)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 陸田 TEL 052-564-1520】

1. 誰の料理を食べてみたいか～「速水もこみち」がトップ

「この人の料理を食べてみたいと思う有名人、芸能人は誰ですか」と尋ねたところ、最も多かったのは「速水もこみち」で全体の 29.9%を占めた。以下、「SMAP」、「栗原はるみ」が続いた（図表 1-1）。「速水もこみち」は、全ての年代でトップとなり、幅広い年齢層から支持を得た。情報番組の料理コーナーにレギュラー出演するほか、レシピ本やキッチングッズをプロデュースするなど、料理通として定評があることが主因と考えられる。

ちなみに、10 年前（2006 年）の調査では、「速水もこみち」の名前は挙がらず、「SMAP」がトップであった（図表 1-2）。

図表 1-1：料理を食べたい有名人・芸能人

順位		有名人	回答率 (%)
1	(-)	速水もこみち	29.9
2	(1)	SMAP	5.8
3	(-)	栗原はるみ	5.5
4	(-)	平野レミ	3.8
5	(3)	タモリ	3.6
5	(-)	ローラ	3.6
7	(-)	ロバート馬場	2.3
8	(-)	みきママ(藤原美樹)	1.8
8	(-)	土井善晴	1.8
10	(2)	グッチ裕三	1.5

(注)括弧内は、2006年の順位を示す。

以下、図表、本文ともに敬称略。

図表 1-2：2006 年の順位

順位		有名人	回答率 (%)
1		SMAP	22.7
2		グッチ裕三	8.6
3		タモリ	8.3
4		梅宮辰夫	5.1
5		細木数子	4.9
6		木村祐一	4.4
7		梅沢富美男	3.7
8		杉本彩	3.6
9		未唯	2.5
10		道場六三郎	2.4

2. 得意料理～「煮物」がトップ

「あなたの得意料理は何ですか」と尋ねたところ、「煮物」が全体の 25.3%と最も多く、以下、「ハンバーグ」、「カレーライス」と続いた（図表 2）。煮物のうち、特定の料理名は 45 品目挙げたが、なかでも「肉じゃが」の回答が多かった（煮物に占める割合の 22.4%）。また、この上位 3 品目は 10 年前（2006 年）の調査と同じで、主婦の得意料理はこの 10 年間であまり変化がないようだ。

併せて「その料理のレシピはどのようにして知りましたか」と尋ねたところ、「母親」が全体の 40.1%と最も多く、以下、「自分で創作（オリジナル）」、「クックパッドなどのレシピサイト」と続いた（図表 3）。全ての年代、住所、就業形態において「母親」がトップとなり、今でも料理を介した母娘のコミュニケーションが続いていることがうかがえた。

また、10 年前（2006 年）の調査時には選択肢になかった「クックパッドなどのレシピサイト」の活用がこの 10 年で進んでおり、特に 20 歳代、30 歳代などの若年層において、3 人に 1 人が活用していることが分かった。レシピサイトの活用拡大が影響したのか、10 年前（2006 年）と比較すると、全ての属性において「レシピ本」、「料理番組」の回答率が減少した。ちなみに 10 年前（2006 年）の調査では、「レシピ本」が 2 位であった。

図表 2 : 得意料理

(%)

順位	料理名	回答率
1 (1)	煮物	25.3
2 (2)	ハンバーグ	12.3
3 (3)	カレーライス	8.7
4 (8)	唐揚げ	5.4
5 (4)	餃子	4.7
6 (-)	みそ汁	2.9
7 (-)	オムライス	2.8
8 (5)	パスタ料理	2.5
9 (-)	コロッケ	1.8
10 (10)	グラタン	1.7

(注)括弧内は、2006年の順位を示す。

図表 3 : 得意料理のレシピ取得元

※複数回答(%)

	母親	自分で創作 (オリジナル)	クックパッドなどの レシピサイト	レシピ本	料理番組	友人	料理学校	祖母	姉妹	近所の人	親戚	(スーパーなど の) 店員	その他
全体	40.1 (▲ 6.5)	17.4 (0.0)	16.5 -	16.4 (▲ 12.3)	4.9 (▲ 4.5)	3.0 (▲ 2.2)	2.8 (▲ 1.2)	2.0 (▲ 0.2)	0.7 (▲ 1.9)	0.6 (0.1)	0.4 (▲ 0.3)	0.1 (0.0)	3.0 (0.8)
20歳代	48.1 (▲ 15.7)	7.4 (4.0)	33.3 -	9.3 (▲ 26.9)	0.0 (▲ 3.4)	1.9 (1.9)	0.0 (▲ 3.4)	3.7 (2.0)	1.9 (▲ 1.5)	0.0 (0.0)	1.9 (1.9)	0.0 (0.0)	0.0 (▲ 1.7)
30歳代	33.6 (▲ 16.2)	12.9 (1.3)	32.8 -	13.8 (▲ 16.6)	1.7 (▲ 3.1)	1.7 (▲ 2.6)	2.6 (▲ 1.3)	1.7 (▲ 0.2)	0.0 (▲ 1.9)	0.0 (0.0)	0.0 (▲ 1.0)	0.0 (0.0)	3.4 (2.0)
40歳代	43.1 (2.3)	14.2 (▲ 6.2)	15.6 -	17.8 (▲ 11.6)	3.6 (▲ 5.4)	2.2 (▲ 2.3)	2.2 (▲ 1.9)	1.8 (1.0)	0.0 (▲ 0.8)	0.0 (▲ 0.8)	0.4 (0.0)	0.0 (▲ 0.4)	3.6 (1.2)
50歳代	41.4 (▲ 0.1)	20.2 (▲ 4.3)	8.9 -	18.7 (▲ 7.1)	8.9 (▲ 6.8)	3.4 (▲ 2.9)	2.5 (▲ 1.9)	1.5 (▲ 1.0)	1.0 (▲ 3.4)	0.0 (▲ 0.6)	0.0 (▲ 1.3)	0.0 (0.0)	2.0 (▲ 1.8)
60歳以上	34.5 (▲ 22.0)	28.2 (8.8)	7.3 -	15.5 (▲ 5.5)	6.4 (▲ 9.7)	5.5 (▲ 7.4)	6.4 (3.2)	2.7 (▲ 5.4)	1.8 (▲ 4.7)	3.6 (2.0)	0.9 (0.9)	0.9 (0.9)	4.5 (4.5)
岐阜県	42.8 (▲ 4.7)	15.6 (▲ 1.4)	14.4 -	15.1 (▲ 13.2)	5.4 (▲ 4.6)	3.1 (▲ 2.3)	3.1 (▲ 0.9)	2.8 (0.3)	0.8 (▲ 1.4)	0.8 (0.4)	0.8 (0.1)	0.0 (▲ 0.2)	3.3 (0.8)
愛知県	36.1 (▲ 10.0)	19.0 (2.9)	19.4 -	18.0 (▲ 11.5)	4.1 (▲ 4.6)	3.1 (▲ 1.6)	2.7 (▲ 1.2)	1.0 (▲ 1.0)	0.7 (▲ 1.7)	0.3 (▲ 0.5)	0.0 (▲ 0.8)	0.0 (0.0)	2.7 (0.7)
専業主婦	38.3 (▲ 10.9)	22.3 (0.1)	21.3 -	13.8 (▲ 15.6)	5.3 (▲ 5.0)	2.1 (▲ 2.7)	1.1 (▲ 3.7)	1.1 (▲ 2.9)	0.0 (0.0)	1.1 (1.1)	1.1 (1.1)	0.0 (0.0)	2.1 (1.3)
正社員等	42.9 (▲ 5.8)	13.6 (▲ 3.1)	19.6 -	15.5 (▲ 11.4)	4.7 (▲ 3.8)	3.2 (▲ 1.5)	3.2 (▲ 0.6)	2.2 (▲ 0.4)	1.3 (▲ 4.3)	0.6 (▲ 0.7)	0.0 (▲ 0.4)	0.3 (▲ 0.1)	3.8 (1.7)
パート	38.3 (▲ 5.1)	18.8 (2.4)	10.8 -	18.8 (▲ 11.1)	5.4 (▲ 4.7)	3.2 (▲ 1.7)	3.2 (▲ 0.2)	1.8 (0.7)	0.4 (▲ 1.3)	0.4 (0.1)	0.4 (▲ 0.7)	0.0 (0.0)	2.5 (▲ 0.1)

(注1) 網掛けは、各属性別における、最も回答率の高い項目。

(注2) 括弧内は、2006年との差を示す。

3. おふくろの味 ~年代を問わず「煮物」「みそ汁」が上位に

「あなたにとって、いわゆる『おふくろの味』と言えば何ですか」と尋ねたところ、「煮物」が全体の42.9%と最も多く、以下、「みそ汁」、「炊き込みご飯」と続いた(図表4)。「煮物」のうち、特定の料理品目は36品目挙げられたものの、回答は「肉じゃが」(煮物に占める割合の33.3%)に集中しており、家庭の懐かしい味として定着していることがうかがえた。年代別にみると、どの年代でも「煮物」、「みそ汁」が1位と2位を占めており、この2品の回答率の合計は約5割となった。

また、10年前(2006年)の調査と比較すると、上位4位までは同じであった。

図表 4 : おふくろの味

(%)

順位	料理名	回答率
1	(1) 煮物	42.9
2	(2) みそ汁	12.7
3	(3) 炊き込みご飯	7.6
4	(4) 寿司	3.5
5	(7) カレーライス	3.0
6	(8) 玉子焼き	2.8
7	(5) 茶碗蒸し	2.1
8	(-) コロッケ	1.6
8	(-) ハンバーグ	1.6
8	(-) 餃子	1.6

(注)括弧内は、2006年の順位を示す。

4. 夫の手伝い～「何も手伝ってくれない」が36.6%

「料理に関する家事で、ご主人は主にどのようなことを手伝ってくれますか」と尋ねたところ、「何も手伝ってくれない」が全体の36.6%と最も多く、以下、「食材の買出し」、「後片付けのみ（食器洗いを含む）」と続いた（図表5）。10年前（2006年）の調査と比較すると、上位3位までは同じであった。

年代別にみると、年代が高くなるほど、料理に関する家事を手伝わない夫が多かった。一方、20歳代、30歳代において約3割の夫が「後片付けのみ（食器洗いを含む）」を手伝っており、若年層では男性の家事参加が浸透し始めていることがうかがえた。

図表5：夫が手伝ってくれること

	何も手伝ってくれない	食材の買出し	後片付けのみ (食器洗いを含む)	メニューの決定	調理まで (後片付けはしない)	メニューの決定から 後片付けまで全て	火を使う工程 (焼く、煮るなど)	具材を切る	その他
全体	36.6 (2.2)	23.1 (3.4)	17.0 (▲2.7)	7.6 (1.9)	3.8 (▲3.3)	3.7 (▲0.6)	2.0 (▲2.9)	0.3 (▲1.0)	5.9 (3.0)
20歳代	13.7 (▲3.5)	25.5 (11.7)	29.4 (▲6.8)	19.6 (12.7)	0.0 (▲6.9)	7.8 (0.9)	2.0 (▲4.9)	0.0 (▲1.7)	2.0 (▲1.4)
30歳代	23.4 (▲4.4)	23.4 (2.7)	29.9 (10.1)	7.3 (▲0.3)	4.8 (▲1.3)	5.6 (0.0)	1.6 (▲6.0)	0.0 (▲1.5)	4.0 (0.5)
40歳代	33.9 (▲3.7)	26.1 (8.5)	15.7 (▲2.3)	5.7 (1.6)	4.3 (▲4.3)	5.7 (0.8)	3.0 (▲2.3)	0.0 (▲1.2)	5.7 (2.8)
50歳代	43.6 (9.2)	22.7 (▲3.9)	12.8 (▲4.7)	9.0 (1.2)	3.3 (▲4.5)	0.9 (▲1.0)	1.9 (0.0)	0.5 (▲0.1)	5.2 (3.9)
60歳以上	52.9 (▲6.1)	16.8 (3.7)	8.4 (▲8.0)	4.2 (4.2)	4.2 (0.9)	0.8 (▲0.8)	0.8 (0.8)	0.8 (▲0.8)	10.9 (6.0)
岐阜県	38.1 (2.8)	22.2 (3.3)	15.2 (▲3.9)	7.8 (2.6)	3.9 (▲4.1)	3.7 (▲1.1)	2.2 (▲2.8)	0.0 (▲0.9)	6.8 (4.1)
愛知県	34.6 (2.9)	24.5 (3.2)	19.5 (▲1.8)	7.4 (1.0)	3.4 (▲2.6)	4.0 (0.8)	1.7 (▲3.1)	0.7 (▲0.9)	4.4 (0.8)
専業主婦	32.3 (0.3)	17.2 (▲2.0)	22.2 (▲2.6)	13.1 (9.1)	3.0 (▲3.4)	4.0 (2.4)	2.0 (▲2.8)	0.0 (▲1.6)	6.1 (0.5)
正社員等	34.4 (▲3.3)	24.5 (6.6)	16.1 (▲3.2)	7.7 (1.9)	4.6 (▲0.8)	4.3 (▲1.1)	1.5 (▲3.0)	0.3 (▲1.5)	6.5 (4.3)
パート	40.8 (6.9)	24.0 (2.8)	16.8 (▲0.9)	6.2 (▲0.2)	3.1 (▲5.0)	2.1 (▲2.2)	2.1 (▲3.1)	0.3 (▲0.6)	4.8 (2.5)

(注1) 網掛けは、各属性別における、最も回答率の高い項目。

(注2) 括弧内は、2006年との差を示す。

また、「料理に関する家事で、ご主人に最低限手伝って欲しいことは何ですか」と尋ねたところ、「後片付けのみ（食器洗いを含む）」が全体の37.4%で最も多く、以下、「何も手伝わなくて良い」、「メニューの決定」と続いた（図表6）。年代別にみると、年代が高くなるほど「何も手伝わなくて良い」の回答率が高くなった。一方、20歳代の約6割、30歳代の約4割がご主人に「後片付けのみ（食器洗いを含む）」を望んでおり、10年前（2006年）の調査と比較するとその回答率は10%以上増加した。

共働き世帯が増加する中、従来型の「男性は外で仕事、女性は家庭で家事・育児」という性別役割分業の意識が、若年層において変化しつつあるようだ。

図表6：夫に最低限手伝って欲しいこと

	後片付けのみ (食器洗いを含む)	何も手伝わなくて良い	メニューの決定	食材の買出し	メニューの決定から 後片付けまで全て	調理まで (後片付けはしない)	火を使う工程 (焼く、煮るなど)	具材を切る	その他
全体	37.4 (6.1)	21.1 (4.9)	13.2 (▲0.4)	12.7 (▲5.6)	5.0 (▲3.4)	3.5 (▲1.9)	1.1 (▲1.4)	0.4 (▲0.6)	5.5 (2.2)
20歳代	64.7 (18.9)	9.8 (1.3)	15.7 (2.1)	5.9 (▲7.7)	2.0 (▲6.5)	0.0 (▲5.1)	0.0 (0.0)	0.0 (▲3.4)	2.0 (0.3)
30歳代	44.4 (10.9)	16.1 (6.1)	12.1 (▲0.9)	13.7 (▲6.3)	4.8 (▲3.7)	3.2 (▲4.3)	0.0 (▲3.0)	0.8 (▲0.7)	4.8 (1.8)
40歳代	37.1 (5.4)	18.1 (4.3)	12.9 (▲4.2)	12.1 (▲5.4)	6.9 (▲1.2)	4.3 (▲0.6)	1.7 (▲2.0)	0.4 (0.0)	6.5 (3.7)
50歳代	34.3 (5.9)	22.9 (1.0)	13.3 (4.3)	14.3 (▲5.7)	4.8 (▲6.2)	3.3 (▲1.2)	1.9 (0.0)	0.0 (0.0)	5.2 (2.0)
60歳以上	24.1 (8.0)	34.5 (▲4.2)	13.8 (0.9)	12.9 (▲3.2)	3.4 (0.2)	4.3 (1.1)	0.0 (0.0)	0.9 (▲0.7)	6.0 (▲2.1)
岐阜県	34.9 (4.9)	20.9 (3.6)	13.0 (▲1.5)	13.0 (▲4.5)	4.7 (▲3.9)	4.4 (▲0.1)	1.2 (▲1.3)	0.2 (▲0.9)	7.6 (3.7)
愛知県	40.3 (7.0)	20.1 (5.8)	13.8 (1.5)	12.8 (▲7.8)	6.0 (▲1.9)	2.7 (▲3.6)	0.7 (▲1.7)	0.7 (▲0.1)	3.0 (1.0)
専業主婦	38.9 (4.3)	18.9 (3.9)	13.7 (▲0.5)	14.7 (▲3.4)	4.2 (▲6.0)	3.2 (0.8)	2.1 (1.3)	0.0 (▲0.8)	4.2 (0.3)
正社員等	35.6 (9.1)	20.5 (▲0.7)	13.9 (▲0.3)	13.0 (▲6.9)	4.8 (▲3.6)	5.1 (1.1)	0.6 (▲1.2)	0.6 (▲0.3)	5.7 (2.6)
パート	39.4 (6.2)	23.0 (10.0)	12.5 (▲0.8)	11.8 (▲5.5)	5.2 (▲2.6)	1.4 (▲6.1)	1.4 (▲2.1)	0.3 (▲0.6)	4.9 (1.4)

(注1) 網掛けは、各属性別における、最も回答率の高い項目。

(注2) 括弧内は、2006年との差を示す。

5. 男性が身に付けるべき料理

最後に「男性もこれくらいは料理ができないと、と思う料理は何ですか」と尋ねたところ、「カレーライス」が全体の24.7%と最も多く、以下、「みそ汁」、「チャーハン」と続いた(図表7)。年代別にみると、上位3品目はどの年代でも上位を占め、幅広い年齢層で共通の認識を持っていることが分かった。また、10年前(2006年)の調査と比較すると上位5位までは同じであった。

前回調査、今回調査とも第4位に「ご飯を炊く」が挙げられている。近年は炊飯器が進化しており、従来機種よりふっくら美味しいご飯が炊けるようになってきている。男性の方々は、まずは休日の時間のある時に、料理の基本からスタートして、少しずつレパートリーを広げていくと、家族の満足度も向上すると思われる。また、料理をきっかけとして、家族とのコミュニケーションも生まれれば、男性自身の心も満たしてくれるのではないだろうか。

図表7：男性が身に付けるべき料理 (%)

順位		料理名	回答率
1	(1)	カレーライス	24.7
2	(2)	みそ汁	14.0
3	(3)	チャーハン	11.0
4	(4)	ご飯を炊く	4.6
5	(5)	野菜炒め	3.7
6	(7)	玉子焼き	3.5
7	(6)	煮物	2.7
8	(10)	焼きそば	2.4
9	(-)	炒め物	2.3
10	(-)	パスタ料理	1.7
10	(9)	ラーメン	1.7

(注)括弧内は、2006年の順位を示す。

以 上